

富士中だより

八丈町立三根学園富士中学校 令和5年1月24日 第9号

ホームページ <http://www.hachi.jomachi-tyo.ed.jp/fuji-jhs/>

◇ 学校教育目標 ◇

自ら進んで学ぶ生徒

人や自然を愛する生徒

健康でねばり強い生徒

《校訓：自主・敬愛・根気》

～パブリックロードレースの絆～

校長

令和5年、新しい年を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。今年の干支は卯（うさぎ）です。卯には安全や温和、跳ね上がるという意味があります。ぜひとも富士中の生徒には時流に乗って、勢いよく成長し、飛躍するような年にしてほしいです。とはいえ、年末年始と島内外でも新型コロナウイルス感染者が急増しております。富士中でも影響があり、新学期早々、オンライン配信で対応しています。17日間の冬休みに生徒たちはリフレッシュできたようですが、今後も油断せずに万全なコロナ対策を励行して教育活動を進めていきます。多くの生徒たちは始業式より元気に登校しています。学校がリラックスできる居場所となるよう、生徒の状況に応じて教育活動を継続していきますのでご理解をお願いします。

3年ぶりに第42回八丈島パブリックロードレースが富士中会場で行われました。オンラインではなく、実際に行われる効果はとて大きく、多くの方々の笑顔に出会うことができました。富士中の生徒はもちろん、日頃よりお世話になっている地域の皆様、三根小の児童、島内の小中高生、保護者、教職員など多くの方々が参加していました。コロナ禍で自分の時間ができると共に健康について考える機会が増え、一気にランニング人口が増えたようです。恥ずかしながら私も多分に漏れず、恐る恐るランニングを始めた一人でした。

パブリックロードレースには3年前赴任した年に職場で誘われ、軽い気持ちで3キロにエントリーしました。学生時代から運動にはそこそこ自信があったため参加したものの、その自信が私の身体にとっては予想以上のオーバーワークとなり、途中で軽い肉離れを起こしました。こんなはずでは・・・と自問自答しながらも街頭の声援には笑顔で応えながら何とかゴールしました。この教訓を元に、1キロ、2キロと距離を伸ばし、小さな成長に大喜びし、継続の大切さを実感しながらランニングの楽しみにはまっていきました。よし、次のパブリックでは10キロに出場しよう、いやハーフマラソン！だと気持ちはどんどん大きくなっていきました。

しかしながら翌年、翌々年もオンラインの開催のみでした。せっかく生活リズムに位置付いたランニングでしたが、雨が少しでも降ったら走らないぞ、大会は当分なさそうだから最低限の5キロだけ走ればよいやなどと言い訳を考え、みるみるうちに月間走行距離も減っていきました。そんな状況下で、今年の再開は喜びと共にハーフの距離を一度も走ったことがないという不安が重くのしかかってきました。数日間には不安で悶々としていたのですが、やることをやるしかないという覚悟を決めて前に進むことにしました。10キロランの回数を増やすと少しずつ自信を取り戻すことができました。また、一緒に参加する仲間と休憩を取りながらの試走では、走力に差があるとはいえ、完走という同じ目標を持つ仲間との時間の共有は安心感につながりました。毎年、気を抜いて心身共にだらけた日々の年末年始でしたが、パブリックロードレース準備のおかげで生活リズムを維持することもできました。

当日、還暦間際の身体には、どんなに言葉の鞭を打っても限界を超えていました。何とか多くの上り坂は早歩きでごまかし、沿道の声援には空元気的笑容で応え、ゴールにたどり着くことができました。走り終わった後に頂いたスポーツドリンクと美味しい焼きたてのパンがしっかりと身体に吸収されるのを実感できました。この2時間あまりの私の過酷な時間に自分を向き合ってくれたのはこのパブリックロードレースを支えてくださった多くの方々のお陰だと気付くことができました。町役場の担当の方が何ヶ月も前から計画を立て、何度も足を運んで会場の利用が富士中に迷惑がかからないように配慮してくれました。大会後に荒れたグラウンドもすぐに整備してくれました。当日の会場では多くのボランティアの方々も協力してくださり、3年のブランクを感じさせない進行で安全に運営されました。以前、富士中に勤務していた先生方も参加し、懐かしい再会にも元気をもらいました。普段は人の行き来が少ないエリアにも多くの応援の方々が駆けつけ、太鼓の演奏で盛り上げてくれ、さみしい時間は全くありませんでした。給水所の皆さんも明るい励ましの声と共に潤いをくれました。富士中生や卒業生の高校生ボランティアの応援は一段と励みになりました。八丈の校長会も無理を承知で？エントリーした全員が完走することができました。走れなかったメンバーは熱い応援に専念し、最終ランナーの方々までゴールの写真を撮り続けてくれました。翌日には来島されていたアテネパラリンピックで金メダルを取られた方の講演会に参加する機会を頂き、走る喜びを再認識することができました。年始めから、パブリックロードレースの絆のお陰で多くの出会いを経験し、幸先の良いスタートを切ることができました。一見、つらく苦しそうに見えるランニングから多くの方々の温かい思いを体感することができました。富士中の教育活動でも高い壁にぶつかったときに多くの方々から支援をいただける教育環境を守っていきたいです。

中学校合同ウインターコンサート

12月17日（土）に富士中学校体育館にて、富士中学校吹奏楽部・三原中学校音楽部・大賀郷中学校音楽部による「中学校合同ウインターコンサート」を行いました。例年同時期に「クリスマスコンサート」という演奏会がありましたが、諸般の事情により今年度は開催がなかったため、今回は島内の中学校3校合同で行うことになりました。

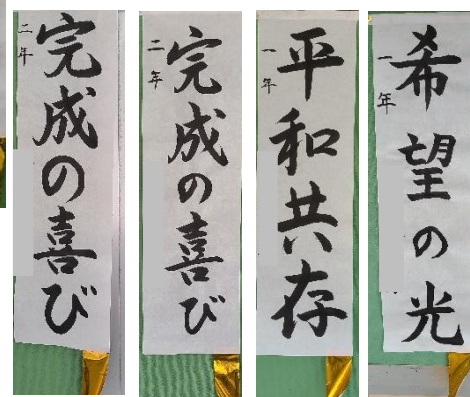
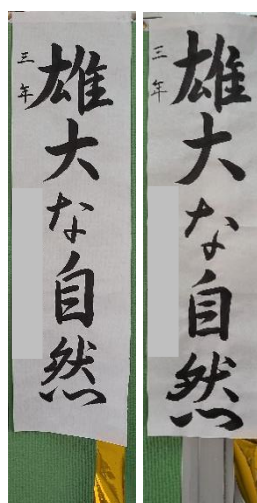
第1部は各校のアンサンブルや合唱の他に、富士中学校では2名の生徒がソロ演奏を披露しました。第2部では富士中学校と三原中学校で吹奏楽の合同演奏を発表しました。当日は90名近くの方に観覧に来ていただき、部員たちにとって緊張感のある良い演奏の機会となりました。3月18日（土）にはおじゃれホールにて三原中音楽部との合同定期演奏会を予定しています。今回の演奏よりさらに磨きをかけた音楽が奏でられるよう活動していきます。【吹奏楽部顧問】



校内書き初め展

本年の決意も新たに、冬休みの課題として書き初めに取り組みました。授業で学んだ楷書や行書の書き方に挑戦し「文字の形を整えて書くことの大切さを改めて感じた」「書写以外での授業でも意識して使っていきたい」と振り返る生徒が多くいました。作品は廊下に掲示しました。学年を超えて、お互いに良さを認め合う微笑ましい場面もありました。また、1月13日に島内中学校国語科教員が集まり、書き初め審査会を行いました。

【国語科】



2月の主な予定

2月 1日（水）都立高校一般願書提出（始）	13日（月）都立高校一般取り下げ
2日（木）都立高校推薦合格発表	14日（火）都立高校一般再提出
3日（金）学校公開（終）	15日（水）職員会議
7日（火）都立高校一般願書提出（終）	18・19日（土・日）P連作品展
10日（金）新入生保護者会	21日（火）都立高校一般入試
小学生1日体験	22日（水）学年末考査（始）
	25日（土）土曜授業・学年末考査（終）